

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：日本古代・中世政治文化論I ILAS Seminar :Politics and Culture in Ancient and Medieval Japan I	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, YOSHIE TAKASHI		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	12 (12)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Fri.5
<b>Classroom</b>	12, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. West Wing			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	日本古代史 / 平安時代 / 外交 / 王朝貴族				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

### [Overview and purpose of the course]

#### 【日本古代史研究書入門 - 社会・文化】

1冊の研究書を受講者全員で輪読し、日本の社会・文化に対する歴史的思考力を高めることを目指す。大学生や一般の人を読者層として想定した、簡易で比較的新しい書籍を取り上げるが、記述の背景を調べ、根拠となっている文献史料の原典を読解することによって、記述内容を批判的に検証する。そうした作業を通じて、歴史に対する思考力・感覚・想像力を磨くことを目指す。今期は、渡邊誠著『王朝貴族と外交』を取り上げ、平安時代における外交の様相について考える。

### [Course objectives]

古代・中世の日本の歴史に関して正確で幅広い知識を獲得するとともに、文献史料の原典を自分の力で読解し、提示された学説を吟味して、自分の見解を対置する能力や、歴史像を組み立てるための技術を身につける。

### [Course schedule and contents]

寛仁3年(1019)に「刀伊の入寇」と呼ばれる異族襲来事件が起こると、日本は、関係悪化を避けようとする高麗に対して警戒を強め、「敵国」視する姿勢をとった。こうした姿勢の前提には、政治外交から離脱する中で対外的軍備を解体していったという10世紀初頭以来の日本の状況があり、高麗に対して脅威を抱いた日本は、三韓征伐伝説を起点とする歴史認識を表出させることとなる。このような歴史認識とは関係のない中国に対しても、国際政治から離脱するという日本の外交姿勢は貫徹していた。他方、消極的な外交姿勢は、貴族たちの間に自尊意識の肥大化をもたらしていった。後白河院や平清盛が行ったとされる宋との外交も、基本的にはこうした姿勢の枠組みの中で理解されればならず、当時の外交を「開国的」「開明的」な政策などとして捉えることはできない。

渡邊誠著『王朝貴族と外交』を輪読しながら、こうした平安時代における外交の様相を把握する。あわせて、根拠とされる資料を分析し、内容の可否を検討する。

第1回 イントロダクション

第2回 平安時代の歴史像と対外世界

第3回 刀伊の入寇からみた外交関係 / 東北アジア情勢からみた刀伊の入寇

第4回 神国思想の成り立ち

ILASセミナー : 日本古代・中世政治文化論(2)

- 第5回 九世紀の日本と朝鮮半島 / 十世紀の半島情勢と「積極的孤立主義」  
第6回 「敵国」意識の高揚 / 呉越との交流  
第7回 宋初の中国と日本 / 成尋の入宋と皇帝の賜物  
第8回 異国牒状問題にみる貴族の政治 / 宋の積極外交と日本の対応  
第9回 高麗医師派遣要請問題  
第10回 日本の返牒と対外觀  
第11回 日本人の海外渡航の禁止 / 南宋の成立と日本  
第12回 後白河・清盛の日宋交渉の舞台裏  
第13回 王朝貴族の外交のゆくえ  
第14回 総括  
《期末試験》  
第15回 フィードバック  
上記の各回の内容は取り上げる書籍の目次による。

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

平常点（授業内での報告および発言・50点）と期末試験（レポート・50点）の合計で成績評価する。

**[Textbooks]**

渡邊誠 『王朝貴族と外交 国際社会のなかの平安日本』（吉川弘文館）ISBN:978-4-642-05967-1（2023年刊行、1800円＋税）

**[References, etc.]**

（References, etc.）

Introduced during class

**[Study outside of class (preparation and review)]**

全体の進行をあらかじめ通知するので、各回の輪読箇所を読み、授業内容を想定しながら予習をすること。

**[Other information (office hours, etc.)]**

授業はゼミ形式で、発表および質疑への参加が必須である。